

冬ノ二三裏

無言へむごんにておこなひけり此娘へむすめの尼へあまを善へせん
智識へぢしきにして終へをはりの時覚えて千遍へせんべんの念

仏申て異香充滿へいきやうじうまんして往生とげて
がり又此むすめの尼は父母にもまさりて

心動へつよくかしこきものなりければ一生不犯へしやうふぼんの
身にて正治へしやうぢ二年へねんの彼岸へひがんに高聲念仏へかうしやうねんぶつ
となへて往生をとげてけり三人同じ

蓮へはちすの実へみとなりたる事のめてたさのち
都のうちに哥よむ人涙をながしあは